

### 第34回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第34回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

#### 結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(-2)となった。
- ・7月から9月にかけての見通しは(+8)で、緩やかな持ち直しの動きが広がっている。

#### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成30年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査	
		A 現況 (H30. 3)	見通し (H30. 4-6)	B 現況 (H30. 6)	(B-A)		見通し (H30. 7-9)	現況 (H29. 6)
					前回現況 との対比			
総 合	97	-1	6	-2	-1	8	12	
農業	9	-10	-40	-33	-23	11	0	
建設業	11	36	-9	18	-18	55	27	
製造業	11	20	40	0	-20	36	36	
卸売・小売業	25	-13	-4	-8	5	4	-12	
観光業	11	0	0	-18	-18	-18	19	
飲食業	9	-33	0	-33	0	-33	-11	
サービス業	21	0	38	29	29	5	32	

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容 (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答  
(2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。  
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。  
「DI」(Diffusion Index、デフージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。